

令和4年度 秋田県立秋田北高等学校 学校評価

		分掌名(教育相談部)	記載者 若狭 玲子	
重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 悩みや学習上,生活上困難を抱えている生徒の支援体制を整備する。 2 研修活動を充実させる。 			
具体的な計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 定期的な情報交換会を開き、悩みや困難を抱えている生徒の早期把握、対応に努める。 2 配慮や支援を必要としている生徒について、職員間で情報の共有と共通理解を図り、SCや外部機関とも連携しながらサポートする。 3 ソーシャルスキルアップセミナー等生徒向け研修会、特別支援教育についての職員対象の研修会を実施する。 4 教育相談だよりを定期的に発行し、生徒・保護者へ積極的に情報提供していく。 			
具体的な取組状況	前期評価	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援が求められる生徒への支援について、6月にスクールソーシャルワーカー(SSW)を講師に招き、教職員対象に職員研修会を開催した。事例を基に、特別な支援を必要とする生徒への具体的な手立てについて理解を深めることができた。また、2学年PTAでは保護者向け講演会として、SSWから親と子の関係について話していただく機会を設けることができた。 ・特別支援が必要な個々の生徒について、SSWを交えてケース会議を行い、個別の指導計画への助言や生徒・保護者への助言をいただいた。このことにより他の機関との連携にもつながっている。 ・後期は生徒のメンタルヘルス向上を目的として、ソーシャルスキルアップセミナーを企画している。生徒にとって有意義な研修となるよう準備していきたい。 		総合評価
	後期評価	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の希望者対象にソーシャルスキルアップセミナーを開催した。生徒自身のさまざまな気付きによる学びもあり、参加した生徒たちにとり大変有意義な研修となったようである。コミュニケーション上の問題 が多い時期であることを念頭に、今後は希望者だけでなく学年の生徒全員が受けられるような時間を設定していきたい。 ・「困りごと調査」において人間関係の問題が指摘されたクラスに対して、SCからの講話の時間を設けた。 ・問題を抱える生徒について、SSWや関係する機関とも情報を共有しながら対応することができた。 ・特別な教育的支援が必要な生徒について、SCやSSW, 医療機関とも連携しながら対応してきたが、直接関係する職員の負担はかなり大きいものとなっている。 		B
今年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援の対象となる生徒に関わる職員の負担が非常に大きい。 ・心の問題を抱えた生徒を早期に発見し、サポートしていけるようにしていきたい。 	今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・人員の確保など要望していきたい。 ・生徒からの相談や悩み事が話しやすい環境になるよう努めていく。 	